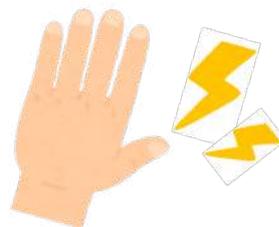


# 爪のひび割れ・変色・爪囲炎



- 抗がん剤を使用していると、変色や変形、薄くなる、剥がれるなど、見た目の変化から痛みを伴うものまで様々な症状が出てきます。
- 個人差はありますが、約7～8週目頃から症状が現れることが多いです。
- **爪に副作用が出やすい薬：**  
フルオロウラシル(5-FU)、TS-1、カペシタビン(ゼローダ)、ドセタキセル(タキソテール)、パクリタキセル(タキソール)、シタラビン(キロサイド)、一部の分子標的薬  
5FU系の薬では爪が黒ずむことが多く、タキサン系の薬では爪に筋が入って凸凹した状態になる副作用が高頻度で現れます。



## Q&A

# 爪のひび割れ・変色・爪囲炎

(予防法)

Q.抗癌剤を使用すると爪が割れたり、ボロボロになると聞いたのですが、  
どうしたら予防できますか??



A.タキサン系の薬を使っている患者さんの中には、手足の爪がオレンジ色  
に変色し、ジュクジュクした浸出液が出たり出血したりして強い痛みを  
生じる人が2~3割います。ひどくなると爪が剥がれてしまう人もいます。

- 重い爪の症状は冷やすことで予防できます。
- 抗がん剤の点滴投与中にフローズングローブとソックス  
で手足を冷やし、重篤な爪の障害の予防を図かります。



## Q&A

# 爪のひび割れ・変色・爪囲炎

(対処法)



Q.抗癌剤を使用すると爪が割れたり、ボロボロになってしまったらどうしたらいいですか？



A. 服や物に引っ掛かって爪が割れやすいので注意が必要です。マニキュアや液体絆創膏を塗ると、ひび割れなどから爪を保護することができます。

変色が気になる時にもマニキュアを塗ると良いです。

→ 除光液を使う場合は、爪への刺激となるアセトンが入っていないもの

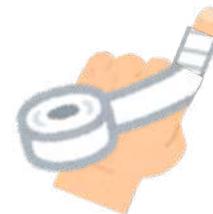
→ 水溶性マニキュアなら、消毒用アルコールだけで落とすことができるのでおすすめです。

※ ジェルネイルは爪の表面を削るので、化学療法中は爪の障害や感染症が生じやすくなってしまふ為、おすすめできません。



・爪を保護する方法として、ネイルの他に伸縮粘着包帯を指に巻く方法もあります。絆創膏などよりも粘着力が低いため、貼り換えが簡単で爪への負担もありません。

・伸縮粘着包帯はドラッグストアや百元均一ショップでも購入できます。





## 液体絆創膏・水溶性マニキュアの商品例

- 小林製薬 液体絆創膏  
サカムケア



- ロート製薬 メンソレータム  
ヒビプロ 液体バンソウ膏



- 水溶性マニキュア  
京の胡粉ネイル

